

9月13日 全校朝会（昼の放送）



実りの秋 ～身の回りの秋に気付き、秋の味覚を楽しもう～

昨日までの予定だった緊急事態宣言が9月30日まで延長されることになりました。8月に比べれば全体の感染者数は減っていますが、油断せず一人一人が感染防止のためにできることをしっかりと実行していきましょう。

さて、第二中学校の入り口にあるキンモクセイの花が咲き始めたことに今朝気付きました。道路に花のよい香りが漂っています。満開になるとあっという間に散ってしまうので1年に1度の短い楽しみです。以前「キンモクセイの花が咲いていていい香りね」と話しかけたら「うちのトイレと同じ匂いがする」と言われたことがあります。確かにキンモクセイがとてもよい香りなので、芳香剤としても「キンモクセイの香り」はよく使われています。でも花の香りはトイレの匂いと一緒にせずに、花の美しさと一緒に味わってほしいなと思います。キンモクセイの木全体がオレンジ色に変わる程満開の花も美しいですが、散り始めると地面一帯がオレンジ色のじゅうたんを敷き詰めたように美しいです。秋の花が次々に咲き始めて、これから秋の景色になっていきますね。

秋を感じるのはもちろん花だけではありません。最近、店先に栗が並ぶようになりました。栗は茹でても焼いても煮ても美味しいし、栗ご飯にしても美味しいですね。栗の歴史は古く、何と縄文時代の人々は、栗の実を食べるだけでなく、栗の木で家を建て、最後は燃料にするなど生活に欠かせない木として、栗の木を植えて育てていたそうです。

日本の秋の味覚として昔から食べられてきた栗ですが、江戸時代になるとさつまいもが日本に渡ってきて、栽培されるようになり、秋の味覚に焼き芋も加わりました。はじめの頃は、焼き芋の味が栗の美味しさには及ばないとして、遠慮がちに八里半と言う名前で売られていたそうですが、シャレ好きの江戸っ子が、「九里よりうまい十三里」として売り出したところ、大いに受けたという話が残っています。九里の9、四里の4、十三里の13、 $9+4=13$ で、「くり、より、うまい、じゅうさんり」という訳です。うまいシャレで焼き芋の美味しさをアピールしていますね。今は一年中食べることができる焼き芋も、昔は年に一度、秋の収穫を楽しみに待つ食べ物だったようです。

これから秋の実りの季節となります。低学年はさつまいも掘りがあります。5年生のバケツ稲も穂の中でお米が少しずつ大きくなっています。梨や柿など秋の果物もたくさん出回るようになりました。身の回りの秋に気付き、秋の味覚を大いに楽しみましょう。

今日は、身の回りの秋に気付き、秋の味覚を楽しみましょうというお話でした。